

2026 年度第 1 四半期決算説明会（アナリスト向け）質疑応答要旨

中東情勢影響について

Q：中東情勢等による年間▲380 億円の影響額の内訳と打ち返しの計画について教えてほしい。

A：▲380 億円の内訳は、主に、タイヤ事業（OHT 除く）で 230 億円、OHT で 130 億円であり、その多くが原材料高騰によるもの。

打ち返しについては、まず為替前提を期初計画から円安に見直したことで影響の約 4 割を、残りの 6 割は、実施済みの値上げ、販売ミックスの改善、好調な OHT 販売などの改善活動で十分にカバーできていると考えている。なお、国内では既に公表済みだが、アジア・欧州など北米以外の地域でも価格適正化を進めていく。全世界一律ではなく、他社のポジションなども見ながらサイズやパターンごとに精査していく。

1Q 実績について

Q：1Q の事業利益 444 億円は非常に好調だったが、一過性要因の有無や社内計画に対する上振れ幅を教えてほしい。

A：一過性要因としては、昨年発生した G-OTR 事業の買収関連費用が無くなったことが一部 OHT 事業の数字を押し上げている。社内計画比ではタイヤ、OHT とともに上振れており順調に推移した。

上期・通期ガイダンスについて

Q：据え置かれた通期ガイダンスの達成確度は？例えば、WTI100 ドル近辺が継続した場合にリスクはないのか？

A：原材料前提については、今期の利益に影響する 3Q までの WTI は最大 93 ドル程度と見ている。仮に WTI 100 ドル水準が続けばマイナス要素になるが、足元では為替相場が今回見直し後の当社前提よりもさらに円安で推移していることなどを踏まえて、吸収可能な範囲と考えている。

Q：年間配当の考え方に変更はあるか？

A：今中期経営計画での「配当性向 30%・総還元性向 30%以上」という方針に変更はない。今期の配当については改めて 2Q 決算終了時点で検討したい。1Q の時点では中東情勢や地政学のリスクを含め、変更しないことをご理解いただきたい。

タイヤ事業（OHT 除く）について

Q：北米市場について、1Qにおける販売減少の要因は？また、2Q以降の回復の確度を教えてほしい。

A：北米市況全体の冷え込みに加えて、1月の大寒波で販売店が稼働できなかったこと、また昨年4Qの販売増により一部顧客で流通在庫が積み上がったことなどが影響した。

2Q以降も引き続き市況は厳しいと認識しているが、昨年までの関税影響による値上げで相対的に高くなった価格ポジションを見直して適正化していくこと、5月に発売する GEOLANDAR の新商品投入や、新規顧客開拓などの施策が実を結びと考えている。

Q：グローバルのバックオーダー状況に変化はあるか？

A：バックオーダーは現在も 100 万本強の高いレベルにある。北米での販売減少分は他地域へ回すなどアロケーションを工夫している。前回2月からの変化としては、中東向けには全体的に供給が減っているため、当社へのバックオーダーが増えている状況。

OHT 事業について

Q：市場環境が厳しい中、1Qの実績は好調だったが駆け込み需要などの一過性要因はなかったのか？

A：1Q非常に堅調なパフォーマンスとなったのは、一過性の要因があったということではない。この2年間進めてきた高いバリュープロポジションを持つ高品質な製品というコンセプトが成果として現れ、この1Qから成果が出始めたものと認識している。今後も力強いパフォーマンスを継続していけると考えている。

Q：特に ATG の販売が非常に強かった理由は？

A：ATG については特に補修用において、北米市場で大幅にシェアが向上した。昨年後半、関税影響で競合他社が出荷を控える中、当社は供給を継続したことで顧客を獲得できた。TWS でも、欧州で「ミタス」ブランドを強化したことで、プレミアムブランドの競合撤退需要を刈り取り、シェアを伸ばした。

Q：インドでの生産においてエネルギー不足や原材料調達について、支障は出ていないか？

A：現時点において、エネルギーの半分以上は太陽光発電、風力発電などであり、生産活動において全く支障は生じていない。原材料調達においてもソースの多様化ができており、現時点で懸念はない。

Q：肥料・燃料高騰などにより農家の購買力低下が起きていると思うがこれらへの対策を教えてほしい。

A：特に北米においては肥料価格が昨年に比べて5割ほど上がっているほか、燃料価格も高くなっている一方で、穀物の販売価格が同じ水準で上がっていないことも農家の方々の苦しい状況につながっている。我々が売上を上げる、もしくは少なくとも維持するためには市場シェアを上げていくしかない。既存のお客様に対する販売訴求や新商品投入によって、新車用、補修用ともに市場シェアを上げていきたいと考えている。なお、新たに投入したバイアスタイヤは非常に好評で、販売好調。